

平成30年度 第21回政策推進会議報告

日 時 3月22日(金) 13時34分～14時01分

場 所 4-1会議室

出席者 22人

1 尼崎市地球温暖化対策推進計画(素案)に対する市民意見公募手続の結果について

経済環境局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 答申をいただき節目の審議会に私も出席したが、委員の皆さんには最後までかなり活発に議論していただき、その中でSDGsについての意見があった。SDGsは非常に包括的な国際目標で、2030年をゴールとしており、いろんな施策と繋がりながら進めないといけない。温暖化対策もSDGsと関わりが深いので、この計画でももう少し強く打ち出していけるように意識することが大事という意見が複数の委員からあった。尼崎市においては、総合計画の16施策をSDGsの17の目標に組み替えたものをホームページに掲載し、総合計画全体でSDGsを推進していくという形をとっている。しかし、本市の総合計画は定住・転入促進やシビックプライド・シチズンシップの醸成というところに重きを置いた評価になっているので、SDGsの評価と完全には一致していないところがある。したがって、SDGsという軸足から考えた時の全体像みたいなものも、どこかで確認する仕組みが必要だと審議会のご指摘から感じた。先般、施策間連携ツールという総合計画と各個別計画との関係をしっかりと見てもらうためのツールを作成したが、あれをSDGsの角度から見るようなページを作るなど、今後考えないといけないと思う。例えば、昨年夏はものすごい猛暑で熱中症により体調を崩す方や命を落とす方がたくさんいたが、そのような温暖化の影響への適応策を考えていく一方で、高齢者を中心とした弱い立場の人に対して、命を危うくしてまで冷房を切れとは言えないなど、福祉医療の話や住宅の環境性能の話が温暖化対策にも非常に大きく関係してくる。これから住宅マスタープランを改定しようとしているのでそういったことも視野に入れたいが、総合計画から言えばファミリー世帯の定住・転入促進のために住宅施策の中でも良好な住宅地の形成というところが強く出てくるが、SDGsから言えばそういった住宅における環境性能というところが少し大きな観点になるので、そのようなアクセントの違いは課題だという風に思った。また、パブコメでいただいた意見のうち、例えば交通に関する事など直接的には温暖化とは関係のない内容について、この計画に対する意見としては対象外と整理する旨を審議会で説明したところ、SDGsでは総合的にやると言っているのに対象外と返すのはおかしいのではないかというような意見もあった。この温暖化対策計画でSDGs全体をカバーするのは難しいということをご説明させていただいたが、全庁的な取組として共有できる工夫をまた考えていきたいと思っている。今回のパブコメでも経済環境局以外に関係する内容が出てきていると思うので、皆さんしっかりとご覧いただきたい。

2 平成31年度向け役職者の人事異動について

総務局長から資料に基づき報告。

3 その他

- ひと咲きまち咲き担当局長から、工場夜景カードについて説明。
- ひと咲きまち咲き担当局長から、尼崎城一般公開記念式典等について説明。
- 公営企業管理者から、「尼崎城」のデザインマンホール蓋について説明。

以 上